

親子で一緒に考える

子どもに伝えたい「お金」のこと



皆さんは、子どもとお金の話をしますか？
キャッシュレス決済の増加や、成人年齢の引き下げにより18歳からクレジットカードの契約ができるようになるなど、時代の変化にもついていかなくてはならない中、金銭トラブルに巻き込まれないよう生きる力を身につけるためにも、親子で「我が家の金銭教育」を始めてみましょう。

【資料提供：コープ共済連 総合マネジメント本部 組合員参加推進部 ライフプランニング活動推進G】

金銭教育のPoint!

1 親の仕事について子どもと話をしてみよう!

日常生活で子どもが手にするお金について「どこから、どのようにして」やってきたのか子どもに伝えることは大切です。その際にお父さん・お母さんがどんな仕事をしているのか話しましょう。

組合員の声

おこづかいを渡す時に「もらって当たり前ではないよ。お父さんが元気で働いてくれているお陰だよ」と伝え、お父さんにお礼を伝えるように話しています。
(多治見市 ぼっさん)

2 おこづかい制度を取り入れよう! おこづかい制度は、金銭教育のきっかけとして始めやすい教材です。

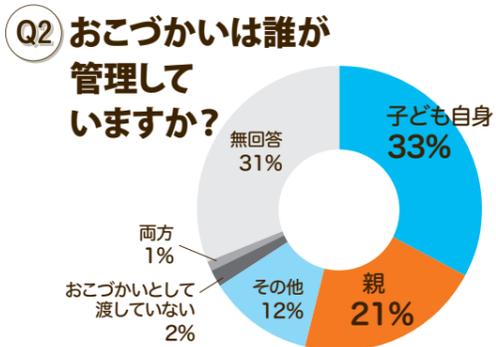
Q おこづかいをいつからあげようか迷っています。
(可児市 musicaoさん)

A お金に興味を持ち、物と交換するものだとわかり、自分で管理すると約束できれば、小学1年生から始めてもいいでしょう。保護者の少しの手伝いがあれば管理ができます。高学年、中学生はできるだけ早く始めることをおすすめします。

組合員に聞きました!

子どものおこづかい事情

Q1 1か月にどれくらいの金額を渡していますか?
小学校低学年以下……約200円
小学校高学年……約500円
中学生……約2,000円
高校生……約4,000円
(組合員の中央値)



Q3 いつ渡しますか?

- 1 決まった日に
 - 2 必要なときに
 - 3 お手伝いをしたら
- 毎月10日までにおこづかい帳と現金を見せたらおこづかいを渡します。金額が大きく違わなければOK!
(中津川市 みゃあこさん)

3 ニーズとウォンツを分けよう!

子どもがお金を使うときは、ニーズ(必要なもの)とウォンツ(欲しいもの)を分けて考えさせましょう。とくに「欲しいもの」を買うときは、よく考えてからお金を使うように促しましょう。

組合員の声

「買い物についてきてほしい」と子どもに言われた時、「自分で買ってね」と言うと、大体「やめておく」と言います。それでも「いる」といったら買ってあげます。自分のお金を出してでも欲しいのか、買ってくれるのなら欲しいのかを考えさせます。
(美濃加茂市 ののんさん)

4 子どもにかかる「これからのお金」について話し合おう!

子どもの将来の希望を具体的に聞き、かかる費用や準備について一緒に考えてみましょう。漠然としていた将来の夢が金銭面で具体的にすることで、子どもにとっても自分の意志を確認するいい機会になります。



5 子どもとルール作りをしよう! 子どもとお金の話ができれば、一緒にルール作りをしましょう!

組合員に聞きました!

わが家のおこづかいルール

それぞれの決めた約束事ができたら1ポイントシールを貼れます。全員が10ポイント貯まった時に「おかね贈呈式」をして、まとめて100円ずつ配っています。ポイントカードは私が子どもの好みのイラストを描いています。「次は何の絵にしておこうかな〜」とお金を貯める以外の楽しみもあるようで、私も描きがいがあります。
(岐南町 デイジーさん)



基本的に子どもがおこづかいで購入するものには口を出しません。親からは無駄に思えることでも、「自分で稼いだお金」なので見守ることにしています。
(瑞穂市 まかりさん)



家族間での貸し借りはいいですが、必ずメモに残すことにしています。友達とは絶対貸し借りしないように約束しています。
(岐阜市 きっちさん)



組合員に聞きました!

わたしの金銭教育経験談

小さい頃は金額の価値がわからないので、うちでは「リカちゃん人形が1体3,000円」という単位で大きな金額を伝えていました。ゲームをねだられると「あれは5リカちゃんもするんだよ」と、娘が驚いて黙ったことがあります。わかりやすく伝えたいですね。
(多治見市 ままりんさん)



長男が初めてクレジットカードを作った際、何故かリボ払い設定となっており、2年以上毎月引き落としが継続していました。おかしいと問い合わせたところ、ほとんど残金が減っておらず慌てて一括払いで精算しました。倍近い利息を払ったので、こういうことを家族で話しておくべきだったと痛感しました。
(岐阜市 ムーミンママさん)



おこづかいを多めに渡せば良かったと思います。内緒でバイトをするとは思わなかったの。
(池田町 くみりんこさん)



教えて! Q & A LPA さんに聞いてみよう

LPAさんってどんな人?

LPA(ライフプランアドバイザー)は、お金のライフプランの専門知識を身につけた生協の組合員です。



Q 今年大学生ですが、クレジットカードをいつ持たせるべきか悩みます。
(可児市 あいあいきつずさん)

A 成人年齢が引き下げられ、親の同意なしで18歳からクレジットカードの契約ができるようになりました。親の目の届かないところでのクレジットカード使用は不安ですね。しかしキャッシュレス化が主流になりつつあるこの社会で、クレジットカードを持つのは致し方がないと思います。初めてクレジットカードを持つにあたって、条件をつけてみてはいかがでしょうか。

- キャッシングを外す(限度額を0円にする)
- リボ払いの契約はしない
- 本人名義のクレジットカード及び銀行口座を設け、口座の残高範囲内でクレジットカードを使用する(家族カードでの使用としない)

このような条件の下でクレジットカードを持てばキャッシングができなため、こづかい範囲内でクレジットカードを使用したり、引き落とし日や口座の残高に気をつけるようになると思います。カードの便利さや怖さを事前に子どもと話し合いされると良いですね。

Q 現金での買い物を知らない子がいると聞きました。今後キャッシュレスはますます進むと思います。昔のように100円持って駄菓子屋さんへというような、あるお金をいかに使うかという経験が無くなりました。見えにくいお金の扱いは難しいと思うので、子ども達に金銭感覚をつけさせるのには何が大切か知りたいです。
(可児市 のんママさん)

A 見えにくいお金だと不安になりますね。見えるようにこづかい帳をつけていくと見える化します。最初は実際にキャッシュレス決済分のお金を、親が預かってみてはどうでしょう? それと同時にこづかい帳でも金額が見えると感覚がつかめるかと思います。

